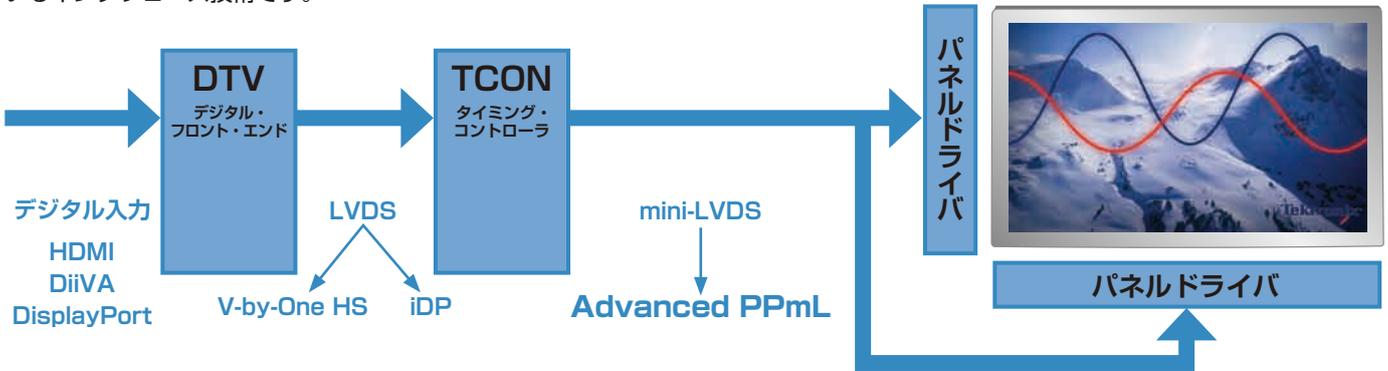


テクトロニクスの Advanced PPmL™ソリューション

Advanced PPmL規格

Advanced PPmL™ (Point to Point mini-LVDS) はルネサス エレクトロニクス株式会社が開発した、大型液晶テレビ向けのインタフェース技術です。液晶テレビやディスプレイは急速に大画面化、高速化、映像の高精細化が進展しています。また、2台目、3台目需要の増加により低コスト化も重要な課題になっています。従来、液晶ディスプレイのタイミング・コントローラICドライバICのインタフェースにはmini-LVDSが使われていましたが、新しい液晶の要件に対してはコスト的にも性能的にも限界に近づいていました。Advanced PPmLはマルチドロップ方式のmini-LVDSに対し、タイミング・コントローラICとドライバICを1対1で伝送させる「Point to Point」と呼ばれるインタフェース技術を採用しています。さらにクロックエンベデッド技術を採用し、配線数の大幅な削減と安定伝送を実現しています。これによりプリント基板の薄型化、システムコストの低減が図れるだけでなく、高精細化、高速駆動などの新しい要求にこたえる高速、高品位のデータ転送を可能にしています。これにより、配線数の大幅な削減、プリント基板の薄型化を可能にしつつ、映像データとクロック信号のスキューフリーを実現しています。mini-LVDSに代わる液晶ディスプレイドライバの標準として期待されているインタフェース技術です。



テクトロニクスのAdvanced PPmLソリューション

テクトロニクスは、DSA70000シリーズ デジタル・シグナル・アナライザとアプリケーション・ソフトウェアの組み合わせにより、ルネサス エレクトロニクスの規格に完全準拠したテスト・ソリューションを提供します。DSAシリーズの高い性能と豊富な機能によってAdvanced PPmLの高度なデバッグ、解析を支援するだけでなく、アイパターン、ジッタ、立上り、立下りを含むTxRxの自動測定を可能にします。測定のセットアップはコンフィギュレーション・ウィザードによって簡単、確実に設定することができます。また、MHTフォーマットによるレポート作成もサポートしています。

測定には差動信号測定とシングルエンド測定が混在しますが、TriMode Probeにより、1本のプローブで差動、シングルエンド、コモンモードの測定が可能になります。Advanced PPmLで重要な伝送路特性の測定、解析にはDSA8300型を用意しています。最高クラスのTDRにより、詳細なインターコネクト解析が可能です。

- Advanced PPmL規格に完全準拠
- デバイス測定で要求されるシングルエンド測定、差動信号測定、コモンモード測定をTektronix TriMode 1種類で全て対応
- Tx/Rxの自動測定 (アイパターン測定、ジッタ、立上り/立下り時間…)
- MHTフォーマットによるレポート作成
- 高精度の高速インターコネクト解析 (DSA8300型)

テスト・フィクスチャの詳細については、担当営業までお問い合わせください。

【問い合わせ先】 お客様コールセンター 電話：0120-441-046



MSO/DSA/DP070000シリーズ オシロスコープ



P7500シリーズ TriMode差動プローブ

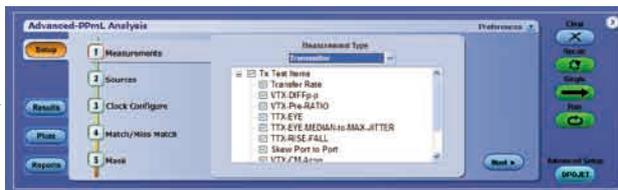


DSA8300型

コンフィグレーション・ウィザードによる簡単な測定／解析設定

コンフィグレーション・ウィザードにより操作性を向上、わずか5つのステップで複雑な設定から解析、Match/Miss Match自動判定、レポート作成までをサポート。従来評価にかかっていた膨大な時間を大幅に短縮しタイトな開発スケジュールに悩まされているエンジニアをサポート致します。

1 測定項目の指定



1. 測定項目の指定

トランスミッターもしくはレシーバー測定カテゴリから測定項目を選択します。ツリービューのチェックボックスにより容易に測定項目の選択が可能。

2 チャンネルのアサイン
トリガの指定



2. チャンネルのアサイン、トリガの指定

最大4Lane同時測定／解析をサポート。リアルタイム波形による解析だけでなく、Math波、Ref波形を使用しての解析も可能な為、過去のデータとの比較も容易。任意のシンボル（0もしくは1）のビット長でトリガ条件を指定します。

3 クロック・
コンフィグレーション
の指定



3. クロック・コンフィグレーションの指定

多様なニーズに対応するClock Configureによりコンプライアンス条件による測定だけでなくPLLの乗数をかえマージン等解析も容易。

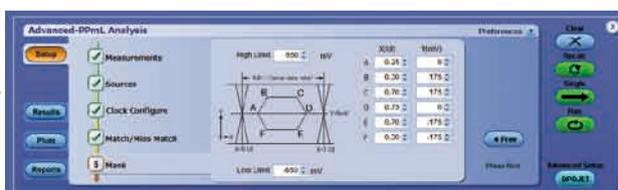
4 Match/Miss Match
リミットの設定



4. Match/Miss Matchの設定

リミット・ファイル (XMLフォーマット) を自動生成し、Match/Miss Matchの自動判定を行う。判定結果はレポート・ファイル (MHTフォーマット) にも反映される。

5 マスクの設定



5. マスクの設定

電圧、時間情報を指定し任意のマスクを自動作成、Eye Diagram評価を行う。

解析結果表示

